



Sagami Women's University

後援会会報

September.2023 No.57



相模女子大学 後援会
相模女子大学短期大学部

後援会会報 第57号

発行日/2023年9月29日 発行所/相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会
編集責任者/後援会事務局

住所/〒252-0383相模原市南区文京2-1-1 電話/042-747-9067



目次

| | | | |
|------------------------------|---|--|---|
| 後援会会長からのご挨拶、2023年度役員選出 …………… | 1 | 2023年度収支予算書、2023年度事業計画 …………… | 5 |
| 2023年度「教育懇談会」開催報告 …………… | 2 | 大学だより …………… | 7 |
| 定期総会（書面審議）開催報告、2022年度事業報告 …… | 3 | 教員からのご挨拶（学長/学科長/研究科長/新任教員）、相生祭イベント実施について、大学近況報告、就職状況報告、2023年度「オンライン報告会（就職編）」開催のお知らせ、2022年度進路決定状況 | |
| 2022年度収支決算書 …………… | 4 | | |

後援会会長からのご挨拶

2023年度後援会会長 田崎 朋子

この度、相模女子大学・相模女子大学短期大学部の後援会会長に就任いたしました田崎朋子です。どうぞ宜しくお願い致します。

後援会は、学生の明るい未来を支援するために存在しています。

そして、入学と同時に保証人の皆様全員入会されていて、皆様からの会費で運営されています。

本年度の役員募集の際には、多くの方々に手をあげて頂き、後援会の活動に興味を持って頂いている事に心より感謝しております。この間、選出された18名で活動を始めています。

主な活動は、定期総会、教育懇談会、オンライン報告会（就職編）の主催、相生祭でのイベント、会報の発行、その他学生の学習支援、課外活動支援、地域活動支援、災害対策等に加え、学長をはじめ副学長、学部長、短期大学部長との会議です。

活動の詳細は、11月に開催される相生祭の中で、後援会の活動を紹介するブースを設置させて頂き、ご紹介させて頂く予定であります。また、今年は、女性ならではの健康促進コーナーも併設される予定です。

皆様に足をお運び頂ける事を楽しみにお待ちしております。

私たち後援会は、このような活動を通して、相模女子大学・相模女子大学短期大学部の学生の皆様、保証人の皆様の声に耳を傾け、学生が心身共に健やかな学生生活を送る事を、明るく輝かしい未来を築く事を、これからも支援し続けます。

最後に、改めて関係者の皆様に感謝の意を表します。後援会の活動にご協力頂けることを心からお願い申し上げます。皆様の温かいご支援が、学生の成長に寄与する事を願っております。

どうぞ宜しくお願い致します。



… 2023年度役員選出 …

会長：田崎 朋子 副会長：小松 薫、齊藤 千鶴
 常任理事（総務部・事業部・会計部担当）：渡邊 知佳、松井 巳知子、増田 理香子
 理事：若菜 明美、川上 智裕、工藤 清美、高野 貴子、二階堂 充、渡邊 晴代、池田 順子、岡本 陽子、千葉 治江、加藤 英津子
 監事：秋山 厚子、永井 浩之
 役員の任期は、2023年度定期総会終了後から2024年度定期総会終了時まで。

2023年度「教育懇談会」開催報告

相模女子大学・相模女子大学短期大学部の教育に関する取り組みを会員の皆様に知っていただくための懇談会です。対面での懇談会の実施と、教育内容に関する報告動画をオンデマンド配信しております。

学科毎の懇談会 及び 教育個別面談 ※対面

2023年6月10日（土）相模女子大学7号館及び11号館にて開催し、107名の会員の皆様にご参加いただきました。

プログラム

①学科毎の懇談会

学科毎の教室で、各学科における授業支援等について、学科長が説明を行いました。
 ※管理栄養学科では、管理栄養士の国家試験に関する説明も行いました。

②教育個別面談

個別ブースにおいて、主にクラス担任の教員と学習・就学状況等に関する面談を行いました。



教育個別面談の様子

参加者の声

- 「国試合格目標の意欲をサポートしたいと思いました。」
- 「4年間の流れがわかりました。就職活動についてもサポート体制が整っているので安心しました。」
- 「ゼミ担当の先生から直接、娘の学校での学習状況等を聞くことができ、大変安心するとともに、就活等を含む今後の活動にかかる疑問を確認でき理解できた。」
- 「過去3年間の振り返りでは娘の生活と照らし合わせて何うことができました（自宅で調理実習、あったあった、という具合）。娘は今教員採用試験一本ですが就職先が食について学んだことを活かすべく多岐に渡っているのも興味深かったです（卒業生のコメントを紹介して下さったのが特に良かったです）」
- 「デザインとはという概念や、学びについての方法など、手をうごかしてなにか作りながらもたどる思考についてなどなど沢山お話をいただきました。これからの長い人生で、娘にとってよい学びの場所がえられてよかったですと思いました。」
- 「入学して2年経過しましたが、コロナもあり成績表だけでは状況が分からず不安でした。来年もこのような機会を設けて頂けると助かります。」
- 「コロナ禍で入学式もなく、娘の通う学校に行けることもなかったもので、ありがたい機会でした。私は一ヶ所に全ての学部がある貴学のキャンパスが大好きです（母校もそうでした）。ぜひ多くの保護者の皆様にアピールしてください。それと今回、就職支援課でもお話を伺いました。親身になってくださり、ほんとうに心強く感じました。御礼申し上げます。」

オンライン報告会（教育編）※オンデマンド配信

現在
配信中

相模女子大学・相模女子大学短期大学部の教育内容に関する報告動画を登録者限定の専用ページにて配信中です。

動画配信期間

2023年6月28日（水）12:00～2024年6月予定
 動画をまだご覧いただいていない会員の皆様、また、学生の皆様もぜひご視聴ください。

動画視聴方法

郵送にてご案内しております「開催のご案内」に記載のURLより「オンライン報告会（教育編）」のトップページを表示し、視聴者情報登録を行った上でご視聴ください。
 URLがご不明の方は後援会事務局までお問い合わせください。

後援会事務局 連絡先 042-747-9067
 Mail: kouenkai@mail2.sagami-wu.ac.jp
 開室時間 10:00～18:00（月・水・金）

配信内容

- (1) 相模女子大学・相模女子大学短期大学部の現況について
- (2) 相模女子大学の社会貢献活動について
- (3) 学生による課外活動報告① 歴史マッププロジェクト
- (4) 学生による課外活動報告② デザイン防火衣企画「Lict（ライク）」



学生による課外活動報告の撮影の様子

定期総会(書面審議)の開催報告

「総会資料の閲覧」及び「各議事に対する表決の意思表示」を後援会ホームページ上で全て行う「電子表決」を実施いたしました。会員の皆様にはご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

2023年度定期総会議決結果

2023年5月19日(金)～6月11日(日)の期間に、電子表決で回答をいただきました結果について、次のとおり報告します。

各議案に対する電子表決結果

| 議案 | 賛成 | 反対 |
|-----------------------------|-----|----|
| 第1議案 2022年度 事業報告の件 | 331 | 0 |
| 第2議案 2022年度 収支決算報告及び監査報告の件 | 330 | 1 |
| 第3議案 後援会会則の一部改正(案)の件 | 330 | 1 |
| 第4議案 後援会内規の一部改正(案)の件 | 330 | 1 |
| 第5議案 後援会諸規程の区分(案)の件 | 331 | 0 |
| 第6議案 2023年度 役員選出(案)の件 | 331 | 0 |
| 第7議案 2023年度 事業計画(案)の件 | 329 | 2 |
| 第8議案 2023年度 収支予算(案)の件 | 329 | 2 |
| 第9議案 2023年度 後援会会議・行事日程(案)の件 | 331 | 0 |

※全ての議案の「賛成」には「委任状提出分(255件)」を含んでいます。

ご意見等について

多くの皆様よりご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。大学・短期大学部に対するご意見等につきましては、大学・短期大学部に報告いたしました。後援会の事業・予算に対するご意見等につきましては、今後の運営に活かして参りたいと存じますので、今後もご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年度 事業報告

会議等の開催

定期総会(書面審議・電子表決)

2022年5月18日(水)～6月5日(日)の期間に後援会ホームページ上で総会資料を公開し、Googleフォームにて電子表決を行った。

役員会等

- 2021年度会計監査 2022年4月23日(土) マーガレット本館会議室5
- 2021年度常任理事会・理事会 2022年4月23日(土) マーガレット本館会議室1・2
- 2022年度常任理事会 2022年7月16日(土) マーガレット本館会議室1
- 2022年度理事会 2022年7月29日(金)～8月8日(月) 書面形式にて開催
- 2022年度常任理事会 2022年9月26日(月)～10月7日(金) 書面形式にて開催
- 2022年度理事会 2022年10月7日(金)～10月26日(水) 書面形式にて開催
- 2022年度常任理事会・理事会 2023年2月11日(土) 夢をかねるセンターガーデンホール
- 2022年度常任理事会・理事会 2023年4月22日(土) マーガレット本館会議室1・2

教育懇談会

開催日:2022年6月11日(土)
場所:7号館及び11号館 各教室

教育懇談会オンライン

動画配信期間 2022年6月28日(火)～2023年6月29日(木)

就職懇談会オンライン

動画配信期間 2022年10月28日(金)～2023年11月予定

相生祭「後援会活動紹介コーナー」

開催日時 2022年11月3日(祝)

相模女子大学・相模女子大学短期大学部に対する援助

- 教育研究活動の充実を図る。
後援会図書購入助成費取扱要項に基づき電子書籍を購入した。また、学外から電子書籍やデータベースを閲覧できるシステム「EZproxy」を継続した。
- 学生の福利厚生の充実を図る。
①学生のクラス会開催について、120件のクラスに経費の一部を助成した。
②卒業生記念品として、大学名(英字)の入った化粧筆(熊野筆)を贈った。
③コロナ禍により中止となった卒業記念パーティに代わり、卒業生全員に紅茶の詰合せを贈った。

- 学生の課外活動の充実と活性化を図る。
①クラブ・委員会活動に必要な用品の購入経費の一部を助成した。チアリーディング部、マンドリンクラブ、フットサル部、茶道部、中央執行委員会、ジャズ研究部、弓道部、吹奏楽部、バレーボール部、バスケットボール部、剣道部、アーチェリー部 計12団体
- 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する。
課外活動の分野で顕著な活躍をした個人4名と団体6件が課外活動奨励賞を受けたことに対して、後援会より副賞を授与した。
- 学生の就職活動を支援する。
就職に関する各種講座やイベントの経費の一部を助成した。Zoomを活用した就職セミナー、SPI模擬試験・試験解説講座、保護者版就職ガイドブック 等

学習支援助成費

- 学習支援に関する以下の経費の一部を助成した。
ラーニングコモンズ企画講座および外部講師謝礼、学習支援スタッフの拡充
- 附属図書館のグループ学習室に電子黒板2台を設置した。

地域連携助成費

大学が取り組んでいる地域連携活動に自主的に参加している学生(個人・団体)に対し、活動に係る経費の一部を助成した。
田植え体験(三重県熊野市)
復興支援学生ボランティア委員会(岩手県大船渡市)
おつきりンピック宣伝部訪問(群馬県富岡市)
復興支援学生ボランティア委員会(福島県本宮市)
能合宿(新潟県佐渡市)
稲刈り体験(三重県熊野市)
梅酒「翠想」ラベル貼り(神奈川県相模原市)
稲刈り体験活動(福島県本宮市)
もとみや秋祭り、農作業体験活動(福島県本宮市)
海外に子ども用車椅子を届けよう!プロジェクト(栃木県日光市)
レシコンテスト(大磯町)
ノジマステラ神奈川相模原 試合運営ボランティア(神奈川県相模原市)
福島県と安達地方の観光物産展における販売補助(浅草寺)

刊行物について

2022年9月に会報55号、2023年3月に会報56号を刊行し、後援会ホームページに掲載した。

災害対策助成について

2022年度分の「非常用防災セット」を1000セット購入した。

弔慰

会員のご不幸(大学22名)に際し、会則に則り弔意を表した。

その他

予備費(新型コロナウイルス対策支援経費)より、11号館のスタディールームに床置き型空気清浄機1台を設置した。

相模女子大学 後援会 2022年度収支決算書

2022年4月1日から
2023年3月31日まで

収入決算額 46,298,398円
支出決算額 34,812,353円
11,486,045円(次年度へ繰越)

事務費

主に総会、各種懇談会等の運営費用となります。事務費の多くは配付資料の印刷費、懇談会の案内を発送する際の通信費に充てられています。

就職対策助成費

学生の就職活動を支援するため、各種講座・試験の受講費補助や、講師謝礼、就職関連図書の購入等を行っています。

教育懇談会経費・就職懇談会経費

昨年度に引き続き、教育懇談会オンライン、就職懇談会オンラインを開催しました。

学習支援助成費

更なる学習環境の整備のため、大学附属図書館に電子黒板2台を購入・設置しました。



災害対策助成費

地震等の災害時に大学に滞留せざるを得ない学生のための「非常用防災セット」を1,000セット購入しました。

【収入の部】

| 科目 | 予算額(A) | 決算額(B) | 比較増減(△)(A-B) |
|----------|------------|------------|--------------|
| 1.会費 | 39,500,000 | 38,770,000 | 730,000 |
| 2.寄附金 | 0 | 0 | 0 |
| 3.雑収入 | 60 | 67 | △7 |
| 4.前年度繰越金 | 7,528,331 | 7,528,331 | 0 |
| 合計 | 47,028,391 | 46,298,398 | 729,993 |

※本年度会費 大学 3,719名×10,000円 = 37,190,000円
短期大学部 158名×10,000円 = 1,580,000円

【支出の部】

| 科目 | 予算額(A) | 決算額(B) | 比較増減(△)(A-B) |
|--------------|------------|------------|--------------|
| 1.事務費 | 4,798,326 | 4,330,982 | 467,344 |
| (1)印刷製本費 | 230,000 | 155,430 | 74,570 |
| (2)消耗品費 | 30,000 | 13,664 | 16,336 |
| (3)通信費 | 1,216,326 | 1,005,908 | 210,418 |
| (4)弔慰費 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| (5)旅費交通費 | 150,000 | 32,980 | 117,020 |
| (6)渉外費 | 20,000 | 0 | 20,000 |
| (7)雑費 | 10,000 | 0 | 10,000 |
| (8)業務費 | 70,000 | 51,000 | 19,000 |
| (9)業務委託費 | 2,772,000 | 2,772,000 | 0 |
| 2.事業費 | 29,601,397 | 23,803,282 | 5,798,115 |
| (1)学生関係費 | 23,071,533 | 17,489,966 | 5,581,567 |
| ①課外活動助成費 | 2,600,000 | 1,930,816 | 669,184 |
| ②福利厚生助成費 | 6,580,780 | 4,998,059 | 1,582,721 |
| ③学生指導助成費 | 10,000 | 0 | 10,000 |
| ④就職対策助成費 | 13,880,753 | 10,561,091 | 3,319,662 |
| (2)行事費 | 2,300,000 | 2,121,600 | 178,400 |
| ①大学祭等助成費 | 800,000 | 800,000 | 0 |
| ②卒業記念パーティ助成費 | 1,500,000 | 1,321,600 | 178,400 |
| (3)文化費 | 4,229,864 | 4,191,716 | 38,148 |
| ①会報発行費 | 605,000 | 580,800 | 24,200 |
| ②講演会等経費 | 20,000 | 12,610 | 7,390 |
| ③教育懇談会経費 | 720,000 | 715,000 | 5,000 |
| ④就職懇談会経費 | 1,270,000 | 1,270,000 | 0 |
| ⑤図書購入助成費 | 1,614,864 | 1,613,306 | 1,558 |
| 3.会議費 | 110,000 | 21,495 | 88,505 |
| (1)総会費 | 0 | 0 | 0 |
| (2)役員会費 | 100,000 | 18,000 | 82,000 |
| (3)部会費 | 10,000 | 3,495 | 6,505 |
| 4.学習支援助成費 | 2,251,500 | 1,982,000 | 269,500 |
| 5.災害対策助成費 | 1,870,000 | 1,870,000 | 0 |
| 6.地域連携助成費 | 3,000,000 | 2,267,704 | 732,296 |
| 7.国際教育助成費 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 |
| 8.予備費 | 4,397,168 | 536,890 | 3,860,278 |
| 合計 | 47,028,391 | 34,812,353 | 12,216,038 |

監査報告書

私たちは、2022年度後援会収支決算書を監査の結果、その適正であることを認めます。

監事 塚本 早苗 ㊟ 監事 秋山 厚子 ㊟

監査実施日 2023年4月22日

予備費

感染症対策支援経費より学生にとって安全な学習環境の整備のため、11号館スタディールームに空気清浄機を設置しました。

通信費の内訳

役員会等の通知(3,608円)
総会・教育懇談会案内(585,579円)
就職懇談会案内(416,721円)

課外活動助成費の内訳

サークル活動補助(1,496,096円)
課外活動奨励賞(434,720円)

福利厚生助成費の内訳

クラス会補助(1,404,916円)
卒業生記念品(3,593,143円)

卒業記念パーティー助成費

コロナ禍により卒業パーティーが中止となったため、卒業生全員に紅茶の詰合せを配付しました。

地域連携助成費

引き続きコロナ禍ではありましたが、地域への訪問および活動も徐々に再開しました。



相模女子大学 後援会 2023年度収支予算書
相模女子大学短期大学部

2023年4月1日から
2024年3月31日まで

収入予算額 47,956,105円
支出予算額 47,956,105円

【収入の部】 (単位：円)

| 科目 | 本年度予算額(A) | 前年度予算額(B) | 比較増減(△)(A-B) |
|----------|------------|------------|--------------|
| 1.会費 | 36,470,000 | 39,500,000 | △ 3,030,000 |
| 2.寄附金 | 0 | 0 | 0 |
| 3.雑収入 | 60 | 60 | 0 |
| 4.前年度繰越金 | 11,486,045 | 7,528,331 | 3,957,714 |
| 合計 | 47,956,105 | 47,028,391 | 927,714 |

※本年度会費 大学・短大 3,647名×10,000円 = 36,470,000円

【支出の部】

| 科目 | 本年度予算額(A) | 前年度予算額(B) | 比較増減(△)(A-B) |
|---------------|------------|------------|--------------|
| 1.事務費 | 4,632,390 | 4,798,326 | △ 165,936 |
| (1) 印刷製本費 | 150,000 | 230,000 | △ 80,000 |
| (2) 消耗品費 | 30,000 | 30,000 | 0 |
| (3) 通信費 | 1,030,390 | 1,216,326 | △ 185,936 |
| (4) 弔慰費 | 400,000 | 300,000 | 100,000 |
| (5) 旅費交通費 | 150,000 | 150,000 | 0 |
| (6) 渉外費 | 20,000 | 20,000 | 0 |
| (7) 雑費 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| (8) 業務費 | 70,000 | 70,000 | 0 |
| (9) 業務委託費 | 2,772,000 | 2,772,000 | 0 |
| 2.事業費 | 26,826,614 | 29,601,397 | △ 2,774,783 |
| (1) 学生関係費 | 19,858,250 | 23,071,533 | △ 3,213,283 |
| ① 課外活動助成費 | 2,610,000 | 2,600,000 | 10,000 |
| ② 福利厚生助成費 | 6,300,000 | 6,580,780 | △ 280,780 |
| ③ 学生指導助成費 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| ④ 就職対策助成費 | 10,938,250 | 13,880,753 | △ 2,942,503 |
| (2) 行事費 | 2,700,000 | 2,300,000 | 400,000 |
| ① 大学祭等助成費 | 800,000 | 800,000 | 0 |
| ② 卒業記念パーティ助成費 | 1,900,000 | 1,500,000 | 400,000 |
| (3) 文化費 | 4,268,364 | 4,229,864 | 38,500 |
| ① 会報発行費 | 604,800 | 605,000 | △ 200 |
| ② 講演会等経費 | 20,000 | 20,000 | 0 |
| ③ 教育懇談会経費 | 698,500 | 720,000 | △ 21,500 |
| ④ 就職懇談会経費 | 1,330,200 | 1,270,000 | 60,200 |
| ⑤ 図書購入助成費 | 1,614,864 | 1,614,864 | 0 |
| 3.会議費 | 110,000 | 110,000 | 0 |
| (1) 総会費 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 役員会費 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| (3) 部会費 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| 4.学習支援助成費 | 2,251,500 | 2,251,500 | 0 |
| 5.災害対策助成費 | 1,980,000 | 1,870,000 | 110,000 |
| 6.地域連携助成費 | 5,000,000 | 3,000,000 | 2,000,000 |
| 7.国際教育助成費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| 8.予備費 | 6,155,601 | 4,397,168 | 1,758,433 |
| 合計 | 47,956,105 | 47,028,391 | 927,714 |

★1 印刷製本費
後援会会報が電子発行に変更になったことから会報発送に使用していた封筒が不要となり減額となりました。

★2 通信費
後援会会報の電子発行に伴い、2022年度まで継続していた新入生への後援会会報の発生が終了したことなどから、減額となりました。

★3 福利厚生助成費
2022年度の卒業記念品の変更に伴い減額となりました。

★4 就職対策助成費
学生数の増加により、2年間限定(2021、2022年度)の措置としていたキャリアカウンセラーの拡充が終了したことから減額となりました。

★5 大学祭等助成費
プロコンサート及びスタッフユニフォームの経費を計上しました。

★6 卒業記念パーティ助成費
食材価格の高騰に伴い増額となりました。

★7 教育懇談会経費
昨年度同様、対面とオンラインの併用で開催することに伴い、動画撮影費等の経費を計上しました。

★8 就職懇談会経費
昨年度同様、オンラインで開催することに伴い、講師謝礼および動画撮影費等を計上しました。

★9 図書購入助成費
図書購入費に加え、電子書籍閲覧システムのライセンス料の支払いを計上しました。

★10 学習支援助成費
学生が求める環境整備を再度検討し実施するため、昨年度と同額を計上しました。

★11 災害対策助成費
防災セット(1,000セット)の価格改定に伴い、昨年度より増額の計上となりました。

★12 地域連携助成費
昨年度は積極的に地域を訪問することを困難と予想し減額としましたが、今年度は学生の活動の機会が広がることを想定し、2021年度と同額を計上しました。

★13 予備費
今年度も感染症流行に伴う学生への支援経費とし、状況に応じた柔軟な対応のための経費と位置づけ執行いたします。

2023年度事業計画

後援会は、以下の通り、大学の教育研究活動、学生の福利厚生、課外活動等を最大限に支援する。

会議等

- (1) 常任理事会及び理事会を必要に応じて開催し、重要事項を審議する。
- (2) 定期総会を1回開催する。／書面形式・電子決裁での開催
- (3) 教育懇談会を開催する。／6月 ハイブリッド形式(対面形式の学生毎の懇談会及び教育個別面談+オンライン報告会(教育編))
- (4) 相生祭に参加する。／11月3日(祝)・4日(土)予定
- (5) オンライン報告会(就職編)を開催する。／11月 オンデマンド配信
- (6) その他

※感染症流行の状況により、各行事の開催方法等を変更する必要がある場合は、随時、常任理事会又は理事会において決定する。

相模女子大学・相模女子大学短期大学部に対する援助

- (1) 教育研究活動の充実を図る。
- (2) 学生の福利厚生の充実を図る。
- (3) 学生の課外活動の充実と活性化を図る。
- (4) 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する。
- (5) 相生祭等、学生の自主的活動を援助する。
- (6) 学生の就職活動を支援する。
- (7) 学生の地域連携活動を援助する。
- (8) その他

会員への情報発信

- (1) 会報(年2回 9月・3月)
後援会ホームページにPDFを掲載する。
- (2) 後援会ホームページの運用／後援会の新着情報・インフォメーションの発信、後援会から援助した学生活動等の紹介等

弔慰

学生、学生の父母または保証人の死亡に対して弔慰金を支給する。

大学だより

教員からのご挨拶

相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長 田畑 雅英

地域の未来と大学の未来

平素相模女子大学・相模女子大学短期大学部の教育と運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

まだまだ油断できないとはいえ、コロナ禍が一段落した後に、尋常でないほど暑い夏がやってきました。もともと相模原の夏は暑いのですが、今年は格違いの炎暑で、記録的な猛暑と言われるのもうなずけます。

その相模原の地に本学が移転してきたのは今から77年前、終戦の翌年のことで、その3年後には新製の相模女子大学となり、今日に至っています。すなわち、125年近くに及ぶ本学の長い歴史の中でも、相模原に所在している期間は優に半分を超えているのです。

本学は旧陸軍通信学校の跡地に立地しており、学内には当時の歴史を伝える遺構や遺物があちこちに残っています。将校集会所であった茜館や、旧陸軍のシンボルマークである五芒星の入ったマンホールなどはその例です。大学では学生が主体となって制作された「サガジヨ歴史マップ」や、相生祭で学生が案内役を務めた「サガジヨ歴史ツアー」など、本学の中に残された歴史をあらためて見直そうという動き

も盛んになってきました。

言うまでもなく、相模原にはかつての軍都としての歴史だけでなく、多様な日常生活の歴史があり、本学もまたその中で、時には先日のコロナ禍のような波乱に遭いながらも、着実に発展してきました。本学はまもなく創立125周年を迎えますが、その記念事業として、地域の皆様との交流スペース設置の検討や、学園と地域の歴史との関わりも視野に入れた資料収集をめざすアーカイブ室の設置など、大学・学園と地域の新たな交流を生み出す試みが計画されています。125周年のさらに先に向けて、過去と現在だけでなく、本学の未来もまた地域の未来の中にあることをあらためて肝に銘じたいと思います。

もちろん、在学する学生の皆さんの教育に全力をあげることは未来においても変わることのない本学の基本です。今後ともご支援ご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。



日本語日本文学科 学科長 宮原 志津子

後援会の皆様には平素より大変お世話になっております。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、大学の日常もコロナ前にだいぶ近づいてきました。大半の授業は対面で行っている他、ゼミ合宿などの学外活動も再開されています。10月に行われる卒業研究・制作中間発表会についても、今年度は対面で行う予定となっています。しかし画面越しのやり取りに慣れてしまったせいか、対面授業やグループワーク活動には、まだまだ戸惑う場面も多く見られています。今後も学科としては、多様な学びの機会を設けていきたいと考えております。また学外に向けては、日本語日本文学科のオリジナルホームページを初めて作り、神奈川県内の高校を対象とした出張講義を始めました。日本語日本文学科の多様な専門領域を多くの方に知っていただきたいと願っております。



英語文化コミュニケーション学科 学科長 九里 徳泰

本年3月に新カリキュラム対象となる学生120名が卒業しました。海外語学研修と10日間以上のインターンシップ・ボランティアを必修化した第一世代です。やっとコロナ禍も落ち着き海外語学研修が復活し、昨春に新規のオーストラリア・ビクトリア大学、フィリピン・ラブラブセブ国際大学に学生を送りました。全学の半年以上の長期留学(マニラ州立大学)も再開し、学科から学生が参加しています。ビジネスコンテスト「神奈川産学チャレンジプログラム」では、学科ゼミナールにおいて7つのチームが優秀賞を受賞しました。過去にない大きな成果です。DX(学科のデジタル対応)にも取り組み、全学科学生対象の「メタパス(インターネット上の仮想空間)」を導入し運用を開始しています。活動的で英語運用能力とコミュニケーション能力を持った本学科の学生の就職率は昨年度も100%となりました。今後はアフターコロナにおいて復調してくる観光とビジネスの追い風に乗って、益々社会に貢献できるよう学科を発展させていく所存です。



子ども教育学科 学科長 池田 仁人

後援会会員の皆さまにおかれましては、平素よりご協力、ご支援を賜り、感謝申し上げます。学生の皆さんが安心して勉学に注力できるのも皆さまの支えがあってこそだと思います。例として、令和4年度の4年生は教員採用試験の成果がめざましく、小学校19名、特別支援学校2名の合格者を出しました。OGの合格者も増加しており、サガジヨの学生さん達の底力を感じました。また、公立保育所にも10名が合格したのをはじめとして、幼児教育の現場にも多くの学生が就職しております。彼女たちは皆、教育や保育だけでなく自分の選んだ道でがんばっています。改めてこの場をお借りし、ご報告と御礼を申し上げます。



子ども教育学科の教育活動もだんだんと元のように戻って参りました。本学の魅力の一つとして、「子どもに近い」という点が挙げられますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもたちと触れあう機会が大幅に減ってしまいました。しかし、今年度は徐々にではありますが、小学部や幼稚部の授業参観や保育活動の見学も増えて参りましたし、小学部の子どもと遊ぶ活動も計画されています。このような環境だからサガジヨを選んだ、という学生さんも少なからずおいでです。教職や保育に携わろうという若い人が減っている中、本学の持つ魅力を最大限に活かし、教職・保育へのモチベーションを高めていきたいと思う次第です。今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願い致します。

生活デザイン学科 学科長 桑原 茂

本年度は、コロナ禍前の姿に戻ってきました。放課後遅くまで作品制作に勤しむ学生数も増え、「大変だけど、学校生活は楽しい」との声が多く聞かれる毎日です。デザイン見学も再開され、9月初めにニューヨークへの研修旅行に11名が参加予定となっています。昨年度から始めたレクチャーシリーズでは、既にCEMENT PRODUCE DESIGN代表の金谷勉氏、STUDIO BYCOLORS代表の秋山かおり氏による講演が行われ、秋学期にはスタジオジブリでも活躍されたCGクリエーターの片瀬満則氏、ファッションデザイナーの玉木新雄氏の2講演を企画しています。(日程等の詳細は確定しだい全学生に告知します)実社会で活躍するデザイナーや起業家による講話ですが、卒業生や保証人など学園関係者はどなたでも聴講可能です。是非ともご参加ください。



メディア情報学科 学科長 岩下 朋世

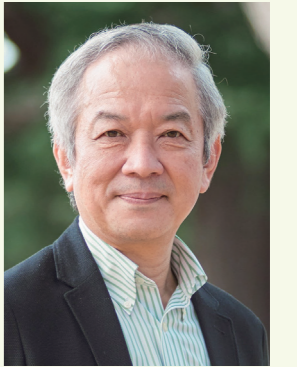
平素よりのご支援、誠にありがとうございます。コロナウイルスの感染拡大が終息したとはまだまだ言い難い状況ですが、次第に日常が回復しつつある中で、オンライン授業等で培ったノウハウを活かしつつ、ここ数年間、制約の多かった学生たちのキャンパスライフを豊かなものとしていくために努力していく所存です。



2020年度から始まったメディア情報学科の現カリキュラムも本年度で4年目、完成年度を迎えました。博物館等での職員に必要な学芸員、図書館で働くための司書、高校の情報教諭といった資格の取得にも力を入れ、メディアに囲まれた現代そして将来の社会を生きる上で役立てることのできる学びを提供していきたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

社会マネジメント学科 学科長 井坂 聡

社会マネジメント学科の学びのテーマは「明るくあたたかい安心な社会をつくる」ことです。社会マネジメント力とは、違いを認め合い、みんなが幸せに暮らせるように社会を整える力であると私たちは考えます。18歳成人、生成型AIの出現、少子高齢化、地球温暖化の加速など、学生を取りまく環境が大きく変化しています。また、女性は男性に比べてライフステージの変化の可能性が多いというのも事実です。そのことを踏まえて社会マネジメント学科では、人生のどんな局面においても、広い視野と柔軟的思考、復元力のあるしなやかさを身につけて、他人を尊重しながら自らも望む道を進むことが出来る、自立した女性を育むことを最重点目標に掲げました。数々の実践的授業の積み重ねを通じて、この目標の実現に学生と教員が一体となって務めてまいります。



人間心理学科 学科長 芝田 征司

昨年度、私たちは初めて公認心理師課程の卒業生を無事送り出すことができました。今年度も、課程の学生たちは各所での実習に励んでいます。



さらに、昨年度は人間心理学科から7名の学生が社会福祉士国家試験に合格しました(人間社会学部全体では9名)。本学学生の合格率は全体の40%台を大きく上回り、60%に達しました。学生たちの努力、課程教員による丁寧な指導の結果が実を結んだ形です。

本学科では、「社会福祉士」と「公認心理師」という2つの国家資格を持ちながらも、資格に偏重することなく、心理学や社会福祉学を中心に、哲学・倫理学や文化人類学を含む幅広い視点からの人間理解を目指して教育を行っています。

後援会の皆様には、今後も一層のご支援をいただければ幸いです。私たちの学生と教育の取り組みに対するご支援を心よりお願い申し上げます。

健康栄養学科 学科長 榎本 ヒカル

健康栄養学科では、『人の健康に食分野から幅広くアプローチ』をテーマに、『食・栄養・健康』に関連する講義や実験実習を通して、社会で活躍する人材の育成を目指しています。今年度は新たに応用栄養学分野担当の吉田明日美先生を迎え、専任教員13人と実験実習助手5名の体制で学生教育を担っております。



専任教員のバックグラウンドが多彩であるのが健康栄養学科の特徴で、非常勤講師にはパティシエやフードコーディネーターなどが在籍し、その道のプロが15回担当する授業もございます。4年間で栄養士資格のみならずフードスペシャリスト、教員免許(家庭科、栄養教諭)、食品衛生監視員・管理者など複数の資格を取得することができます。そして卒業時には様々な分野の就職先に羽ばたいていくのも健康栄養学科の特徴です。

後援会の皆様には引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

大学院栄養科学研究科 研究科長 黒岡 尚徳

栄養科学研究科は、栄養学、医学、生物科学、食品科学などを専門分野とする、健康栄養学科と管理栄養学科所属の計19名の教員から構成されています。この3月には、博士前期課程1名と後期課程1名の大学院生が修了しました。(後期課程修了者は優れた研究業績が認められ、通常3年のところ1年で学位を取得しました。)



今年度入学者がいなかったため、現在在籍者はいませんが、本研究科の特色である、① 社会人が働きながら学べる(授業を夜間や土曜に実施する、長期履修制度がある)、② 入学試験成績優秀者を対象とする特別奨学金制度がある、③ 栄養教諭専修免許状を取得できる、といった点を積極的にアピールし、入学者を増やすよう努めていきたいと考えております。後援会の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大学院社会起業研究科 研究科長 金森 剛

専門職大学院「社会起業研究科」は、2年間でMBA-SE(社会起業修士)がとれる、男女共学の修士課程です。この4月に4期生を迎えました。後援会の皆様も是非ご入学ください。



社会的課題をビジネスの手法で解決する「ソーシャル・アントレプレナー」を養成しています。経営学の諸領域と社会起業の技術を学びます。院生は20代から60代までおり、まさに社会の縮図です。1~2期生は既に修了し、各方面で活躍しています。独立起業するだけでなく、企業や自治体の中で事業開発を行う方も対象としています。平日夜間(オンライン)と土曜日昼間(一部オンライン)に開講、学費は国立大学並みです。入試は12、2、3月の3回です。

【社会起業研究科ホームページ】
<https://www.gsse-sagami.jp/>

管理栄養学科 学科長 樋川 直司

ここ数年間、管理栄養学科学生の課外活動での活躍が目立っています。一昨年度、昨年度は、スポーツライミングの世界選手権やワールドカップに参戦し、ワールドカップで世界4位に入賞した学生、本年度は、Double Dutch Contest Japanにおいて2位、Double Dutch Contest Worldの世界大会で5位になった学生がおります。管理栄養学科の学生は、授業で学ばなければならない内容が多く、それに時間を費やすことで時間が不足しがちになります。その中でこのだけの実績の陰には、本人の相当の努力や周囲の人達の協力があつたことが想像されます。好きなことに打ち込んで努力ができるというのは、最強で最高の才能の一つと考えます。将来にもきっと役に立つでしょう。彼女たちにエールを送ります。



食物栄養学科 学科長 笹田 周作

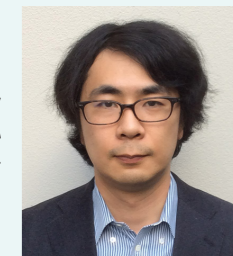
食物栄養学科は本学短期大学部の中で、その前身となる組織を含め、70年以上にわたり栄養士養成に携わってきました。このような長い期間「社会の健康を支えられる即戦力となる栄養士を輩出」するという役割を担ってこられたのは、学びたいと願う学生皆さんの頑張り、それを応援してくださる皆様のおかげと存じます。皆様も御存じの通り、近年短大の閉鎖に関するニュースが多く聞かれるようになりました。本学科も社会の変化に合わせ、2024年度より学生定員を120名から80名へと変更します。一方で、令和3年度学校基本調査を読み解きますと、未だに30%弱の高校生が短大・専門学校に進学しています。時代の変化とともに組織形態や、提供する学び、そしてその規模を柔軟に変化させてきた先人たちを見習い、「2年間の就学機会を可能な限り社会へ提供する」という役割を担っていく所存です。引き続き、皆様の御理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新任教員紹介

日本語日本文学科 講師 藤田 佑

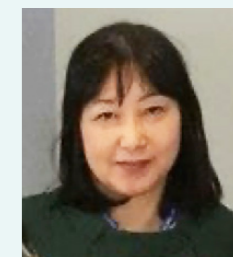
担当科目: 近現代文学・国語教育



日本近現代文学と、国語教育分野の授業を担当しています。これまで、自身の専門研究と並行して、中高で教壇に立ったり、国語教科書作成の仕事等もしてきました。研究においても、教育においても、また個人的な読書においても、言葉の一字一句と向かい合うことが、「文学」との付き合い方の基本だと思っています。言葉を大切に、健やかな学生が育っていくのを見届けていきたいと思っています。

英語文化コミュニケーション学科 教授 松永 幸子

担当科目: 特別活動論 ほか



今春、英語文化コミュニケーション学科に着任致しました。専門は教育学で、主に教職関係科目を担当致します。私は、学校教育だけではなく、生命観や人間観の歴史、共感力の育成方法についてなど教育を広くとらえて研究してきました。被爆地の出身であり、平和教育にも興味を持っております。本学のように歴史ある女子大学にご縁があり嬉しく思います。学生の夢を叶えるサポートをしていきたいと思っております。ご教授よろしくお願いたします。

英語文化コミュニケーション学科 講師 赤塚 祐哉

担当科目: 英語科教育法(中) ほか



英語文化コミュニケーション学科に着任致しました赤塚祐哉と申します。本学着任前は公立学校及び私立大学附属校で20年間、英語科教員を務めておりました。専門は英語教育学と教育方法学で、主に批判的思考教育や国際バカロレア教育を研究対象としています。学校教師という職業は、教育についての深い見識が求められることから、教師としての専門性を磨くことの醍醐味や人間を育てることの魅力、学生に伝えていければと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

子ども教育学科 講師 中内 麻美 担当科目:保育の原理、子育て支援実践研究 ほか



4月より子ども教育学科に着任いたしました。担当科目は、保育の原理、子育て支援実践研究、子ども家庭支援論、保育実習指導Ⅰ・Ⅲ(施設)等です。これまでに、子どもの発達支援と保護者支援に心理士として携わる傍ら、短大の保育士養成に従事してきました。本学では、学生の皆さんが主体的に学びを深め、対人援助職に必要な実践的省察力を身につけることができる授業を目指していきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いたします。

健康栄養学科 講師 吉田 明日美 担当科目:ライフステージの栄養学



4月に健康栄養学科に着任いたしました。本学では、主に「ライフステージの栄養学」の講義と実習を担当しております。私はスポーツ系の大学院で学位を取得後、管理栄養士養成課程の助教、食品系学科の助教、スポーツ系学科の講師と、それぞれ特色ある環境で学生教育に従事してまいりました。これまでの経験を活かし、本学での「健康と食のスペシャリスト」の育成に貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願申し上げます。

管理栄養学科 講師 保瀬 由江 担当科目:調理科学、調理学実習 ほか



今年度、管理栄養学科に着任いたしました保瀬由江と申します。主に、調理科学、調理学、調理学実習を担当しております。調理には食品(食材)をおいしい料理に仕上げるための要領があります。その要領には科学があり、食品の成分や調理性が関係しています。私は、調理科学、調理学の授業・実習を通じて、食べる人に合わせた食事が提供できる管理栄養士を育成していきたいと考えております。どうぞよろしくお願申し上げます。

相生祭イベント実施について

今年度の相生祭では、「後援会紹介コーナー」と公益財団法人かながわ健康財団との共催で、「健康促進コーナー」を実施します。

実施日(予定) 11月3日(金・祝) 10:30~15:00
11月4日(土) 10:30~15:00

実施場所 7号館1階ラウンジ、7号館2階725教室

開催内容 「後援会紹介コーナー」
後援会の活動に関する展示、オンライン報告会(教育編)の動画上映等

「健康促進コーナー」
子宮頸がん及び乳がん予防のトーク・相談、「がんを見て、触って、考えよう」クイズ、肌年齢又は血管年齢測定等

昨年の様子



大学近況報告

学修・生活支援課の取り組みについて

後援会会員の皆様には日頃よりご支援賜り感謝申し上げます。

今年度より大半の授業が対面形式となり、キャンパス内は賑わい、通常の学園生活を取り戻せたような活気に溢れております。後援会の皆様のご支援により設置されましたラーニングコモンズ内にある学修スペースは、連日概ね満席の状況でございます。

また、昨年度より引き続き、クラブ活動、大学祭等の諸活動においてもご支援頂いておりますこと感謝申し上げます。

後援会の皆様より活動に必要な備品の購入などのご支援を頂きまして、クラブ活動にも活気が出てきたようです。お陰様でクラブ活動は活動団体、活動回数が増える傾向にございます。

大学祭においても、今年度はコロナによる制限のない開催を予定しております。学生たちの学園生活をより充実させたものにも出るよう、サポートして参ります。

今後も学修・生活支援課をご支援賜りますようお願い申し上げます。



クラブ活性化プロジェクト
フラワーアレンジメント展示の様子

大学事務部学修・生活支援課長 石上 正也

附属図書館における学習支援状況について

後援会会員の皆様には、日頃よりご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。

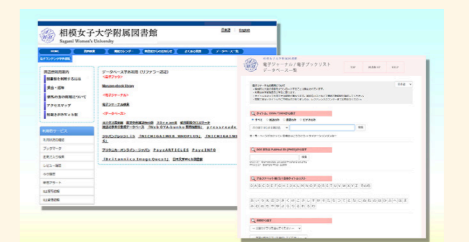
新型コロナウイルスによる制限が緩和され、ほとんどの授業が対面に戻りつつある中、附属図書館にも多くの学生が利用に訪れています。

コロナ禍でオンライン授業も一般的になり、附属図書館でも様々な電子コンテンツを利用いただけるよう整備しております。後援会会員の皆様のご支援により、従来は学内でしかアクセスできなかった各種資料に、学外からもアクセスできるようになりました。他にも、図書やグループ学習室への電子黒板の購入など、皆様のご支援のおかげで附属図書館が充実し、ますます学生の利用の幅が広がっております。

コロナ禍でオンラインでの授業環境が進み、附属図書館の

サービスも日々多様化しております。今後も学生たちの学習支援に努めて参りますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

附属図書館ホームページ
https://www-std01.ufinity.jp/sagami_wu/?page_id=13



電子コンテンツは
附属図書館ホームページからご利用いただけます



大学事務部学術研究支援課長 黒井 由美

~アフターコロナ~学外活動が再開しました

後援会会員の皆様には日頃より学生の地域活動や国際教育へのご支援を賜り感謝申し上げます。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したことに伴い、地域活動など学外活動を再開しています。活動によっては高齢の方などと接する機会も多いため、各地域の事情を鑑み適宜感染症対策を行いながら、学生たちは元気に活動を行っています。地域の皆様からは「学生さんが再び来てくれるようになり地域に活気が戻りました」など嬉しい声を頂戴しています。これら全国各地域をフィールドに、授業以外で学生が主体的に行う活動を「Sagamiチャレンジプログラム」と呼んでいます。これら活動を通じて学生が身につけた力を紹介する冊子が出来上がりました。大学のHP等で公開していますの

では是非ご覧ください。

QRコードまたはURLから



<https://www.sagami-wu.ac.jp/features/region/>



福岡県糸島市「女性のはたらき方研究プロジェクト」

夢をかなえるセンター連携教育推進課長 会田 恵子

就職状況報告

後援会会員の皆様には日頃より就職支援に多大なるご支援を賜り感謝申し上げます。
 本学学生の就職状況および就職支援課の取り組みにつきましてご報告させていただきます。

〈2023年度卒業予定者の就職活動状況〉

株式会社リクルートの調査によると、6月まで過去最高水準で推移してきた就職内定率は、7月1日時点の大学生では、83.2%と前年と同水準になりました。

この数値だけをみると、ほとんどの就活生が内定を持っている状況であると判断できるため、多くの方は焦りを感じてしまうのではないのでしょうか。しかしながら、この数値はあくまでも参考値であり、アンケートに回答している一部の就活生の状況を反映しているものです。ご息女が現在も就活中であるからといって、決して周囲から遅れているわけではありませんので、ご安心ください。

最近は通年採用を行っている企業も多くなってきており、また夏休み以降に採用活動を実施する(秋採用)企業もあります。そのため、現在就活をしている学生は、焦ることなく自身の希望の進路を見つめ直して、地に足を付けた就活を継続してもらいたいと思います。そして私たち就職支援課は、学生たちが自分の希望する進路に進めるように、安心して就職活動に取り組めるように、これから一人ひとりに寄り添った支援をしてまいります。

〈2024年度卒業予定者の就職活動状況〉

株式会社リクルートによると、就活を始める時期は、卒業前年度の6月以前が最も多いと言われています。本学では、大学3年生を対象に4月から、短大1年生を対象に7月から「就職準備講座」を実施しています。この講座は、業界・職種に関わらず就職活動を行うすべての学生に必要な内容となっています。今後も多くの学生の出席を期待しています。

また、この年度の就活生より大きく変化がある事柄として、インターンシップが挙げられます。経団連と大学が直接対話する枠組みとして発足した「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」が新たなインターンシップの定義を定め、この学年から適用となっています。インターンシップは4つの定義(*)に分かれ、特定の要件(就業体験、実施期間等)を満たしたものは、インターンシップ中に得た学生情報を選考活動に活かしてもよいとされました。そのため、これまで以上にインターンシップに参加をする重要性が増すと考えられています。就職準備講座内でもインターンシップの重要性を伝えていますが、多くの学生がインターンシップに積極的に参加をしてくれることを望みます。

*タイプ1:「オープン・カンパニー」: 個社や業界に関する情報提供・PRが目的
 タイプ2:「キャリア教育」: 働くことへの理解を深めるための教育が目的
 タイプ3:「汎用的能力・専門活用型インターンシップ」: 就業体験が必須
 タイプ4:「高度専門型インターンシップ」: 博士課程や修士課程の学生が主な対象

2023年度「オンライン報告会(就職編)」開催のお知らせ

今年度もオンライン(動画配信)にて開催します。

- 配信内容 (予定)**
- (1) 学長メッセージ
 - (2) 内定者獲得学生へのインタビュー(各学科1名の学生が出演予定)
 - (3) 編入学決定者へのインタビュー(1名の学生が出演予定)
 - (4) 外部講師の講演
 - (5) 就職支援課からの報告(就職状況・就職支援課の取り組み)等

配信時期 2023年11月29日(水)～2024年11月予定

開催通知及び動画の閲覧方法は、保証人宛に郵送いたしますご案内をご確認ください。



2022年度進路決定状況

就職支援課(夢をかなえるセンター1階) 電話/042-742-1734

進路決定者数

| | 日文 | 英文 | 教育 | 情報 | デザイン | 社会 | 心理 | 健康 | 管理 | 大学計 | 栄養 | 短大計 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 卒業者(A) | 116 | 122 | 104 | 87 | 47 | 148 | 130 | 83 | 116 | 953 | 82 | 82 |
| 未登録 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| 大学院 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 6 | 0 | 0 |
| 大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 編入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15 | 15 |
| 専門学校・各種学校 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4 | 0 | 2 | 9 | 2 | 2 |
| 研究生等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 留学(進路先確定) | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 留学(進路先未確定) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| アルバイト | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 家事従事 | 6 | 14 | 4 | 7 | 12 | 10 | 13 | 3 | 2 | 71 | 3 | 3 |
| 未報告 | 2 | 3 | 6 | 2 | 0 | 1 | 3 | 0 | 1 | 18 | 0 | 0 |
| その他 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| 計 | 14 | 23 | 11 | 12 | 13 | 14 | 24 | 4 | 5 | 120 | 20 | 20 |
| 未決定者 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 9 | 1 | 1 |
| 決定者(B) | 97 | 99 | 93 | 75 | 33 | 133 | 103 | 77 | 111 | 821 | 61 | 61 |
| 計(C) | 102 | 99 | 93 | 75 | 33 | 134 | 106 | 77 | 111 | 830 | 62 | 62 |
| 希望率(C/A) | 87.9% | 81.1% | 89.4% | 86.2% | 70.2% | 90.5% | 81.5% | 92.8% | 95.7% | 87.1% | 75.6% | 75.6% |
| 決定率(B/C) | 95.1% | 100% | 100% | 100% | 100% | 99.3% | 97.2% | 100% | 100% | 98.9% | 98.4% | 98.4% |

決定者の職種別内訳

| | 日文 | 英文 | 教育 | 情報 | デザイン | 社会 | 心理 | 健康 | 管理 | 大学計 | 栄養 | 短大計 |
|--------------|----|----|----|----|------|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|
| 総合職 | 19 | 30 | 4 | 14 | 6 | 38 | 26 | 18 | 18 | 173 | 5 | 5 |
| 事務職 | 17 | 17 | 1 | 9 | 3 | 24 | 19 | 2 | 4 | 96 | 7 | 7 |
| 司書・図書館関連 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 営業職 | 3 | 5 | 1 | 5 | 2 | 19 | 7 | 2 | 0 | 44 | 1 | 1 |
| 販売職 | 13 | 15 | 1 | 4 | 9 | 10 | 6 | 3 | 2 | 63 | 2 | 2 |
| 栄養士 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 41 | 25 | 67 | 39 | 39 |
| 管理栄養士 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 58 | 58 | 0 | 0 |
| 調理員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 保育士 | 0 | 0 | 44 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 45 | 0 | 0 |
| 保育教諭 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 |
| 介護職・生活支援員 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 12 | 12 | 1 | 1 | 31 | 1 | 1 |
| 児童指導員 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 11 | 0 | 0 |
| 社会福祉士 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 |
| 看護師 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 教諭(幼稚園) | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 |
| 教諭(小学校) | 0 | 0 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 0 | 0 |
| 教諭(中学) | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 8 | 0 | 0 |
| 教諭(高校) | 10 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 14 | 0 | 0 |
| 教諭(盲・聾・養護) | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 教諭(その他学習塾など) | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| 教諭 小計 | 14 | 5 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 5 | 0 | 28 | 0 | 0 |
| 研究助手 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 設計職 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 製造職 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 8 | 1 | 1 |
| サービス職 | 9 | 14 | 0 | 2 | 1 | 8 | 7 | 1 | 0 | 42 | 2 | 2 |
| インストラクター | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| エステティシャン | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 7 | 1 | 1 |
| 警察・自衛隊 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| デザイナー | 0 | 0 | 0 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 |
| SE | 9 | 5 | 0 | 27 | 1 | 10 | 6 | 0 | 1 | 59 | 0 | 0 |
| プログラマー | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 |
| 映像撮影者・AD・俳優 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 |
| その他の専門職 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| 建設・採掘職 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 生産工程従事者 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| その他 | 2 | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 9 | 1 | 1 |
| 合計 | 97 | 99 | 93 | 75 | 33 | 133 | 103 | 77 | 111 | 821 | 61 | 61 |